|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 施設長 | サビ管 | 世話人 | 世話人 |
| 　　 |  |  |  |

議事録（スタッフ会議）・第4回

2021年7月20日（火）

15：00～16：30

参加者：田中施設長、芳賀サビ管、江畑、丸山

1. 7月16日の朝、儀間さんと野中さんのトラブルについて

丸山さんから報告書（別紙）と照らし合わせながら、当日の現状について事実確認を行った。

-1．　昨夜の麦茶入れについて

儀間さんの主張

* 麦茶のポットから直接口飲みをしていた。（本人は、その時の状況を見ていない。
* コップが出ていなかった。ペーパータオルが捨てていなかった。）

野中さんの主張

* 昨晩のどが渇いたので麦茶をコップについで飲んだ。
* 自分はちゃんと洗剤で洗って引き出しからタオルをだして拭いてからしまった。

職員の観察等

* 昨日使用したタオルは洗濯済。

使用タオルがタオルがけにかかっていた。

　　野中さんが、コップを拭いたと推定できる。

* 麦茶のポットから麦茶は飲まない。

－2.　　叩く素振りについて

　　　　　客観的事実

* 儀間さんが、野中さんの叩こうとした素振りをし、職員が「叩いてはいけない」と促すも、儀間さんは聞き耳をもっていなかったとの事。
* 儀間さんのグーが野中さんの身体に触れたかもしれない。

-3．　当事者に対する職員の態度。

* 1. 職員は、当事者同士の争いに巻き込まれない。
	2. 双方の話を平等に聞く。
	3. 判断材料が無い場合は、その場で判断せず保留する。

　　　　　　その後、職員同士で共有してから判断する。

　　　　　　先入観がないかを確認する。

* 1. 事実確認を行い、双方に結果報告を行う。
		+ 当事者同士で言い争いになっても、職員は事実関係を見すごしてはいけない、

先入観があると誤りや見落としが出てくる。

1. 儀間さんのボス化的行動について
	1. 入所者のボスにならないようにしたい。
	2. 日中活動から帰宅後に、すぐに入浴又はシャワー浴を行う為。

現状（儀間さんがいつも１番風呂）が固定すると困る。

* 1. やってもらっている考えが当たり前になってほしくない。
	2. 出来る事を探す。

　　・出来るよう動機づけをする。

1. 報告書の書き方について
	1. 事実と確認に基づいて書くこと。

　　・誰が、何をした。　　　　・誰が、どうした。

* 1. 時系列に沿って書くこと。
	2. 判断（根拠が必要）と主観を分けて記録する。
1. 8月の野中さんの昼食について（夏休み期間中）

　　　　8月7日（土）から16日（月）までが、フリークスアッドが夏休みとなる。

　　　　　　　・8月9日（月・祝）は、野中さんの意向を聞いてから注文となるが、冷蔵庫にある物で対応とする。

　　　　　　　・8月14日（土）は、注文を行う。

　　　　　　　・その他の日（平日）は、注文はしないとする。

以上